

この Readme の情報は、Linux および Windows サーバおよびワークステーションを包括的に管理する製品である、Novell ZENworks 11 に関連しています。

- ◆ 1 ページのセクション 1 「インストールまたはアップグレードする前に」
- ◆ 4 ページのセクション 2 「運用上の既知の問題」
- ◆ 26 ページのセクション 3 「保証と著作権」

1 インストールまたはアップグレードする前に

ZENworks 11 のインストールまたはこれへのアップグレードを開始する前に、次のセクションに記載されている情報を確認してください。

- ◆ 1 ページのセクション 1.1 「新機能」
- ◆ 1 ページのセクション 1.2 「サポートされているプラットフォームおよびインストール手順」
- ◆ 1 ページのセクション 1.3 「アップグレードの前提条件と手順」
- ◆ 2 ページのセクション 1.4 「その他の製品マニュアル」
- ◆ 2 ページのセクション 1.5 「インストールに関する問題」

この製品には、文書化されていないユーティリティが付属しています。これは Novell サポートが問題の診断または解決を行う際に使用します。

1.1 新機能

ZENworks 11 の新機能または拡張機能に関する詳細については、『*Novell ZENworks 11 アップグレードガイド* (http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_upgrade/data/bookinfo.html)』の「*新機能* (http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_upgrade/data/brqd5bv.html)」のセクションを参照してください。

1.2 サポートされているプラットフォームおよびインストール手順

『*Novell ZENworks 11 インストールガイド* (<http://www.novell.com/documentation/zenworks11/>)』を参照してください。

1.3 アップグレードの前提条件と手順

プライマリサーバ、サテライト、および管理対象デバイスの ZENworks 11 へのアップグレードのための前提条件および手順に関する詳細については、『*Novell ZENworks 11 アップグレードガイド* (http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_upgrade/data/bookinfo.html)』を参照してください。

1.4 その他の製品マニュアル

この README は、ZENworks 11 に固有の問題を一覧表示しています。

他のすべての ZENworks 11 のマニュアルについては、[Novell ZENworks 11 documentation Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/zenworks11\)](http://www.novell.com/documentation/zenworks11) を参照してください。

1.5 インストールに関する問題

このセクションでは、ZENworks 11 のインストール時に発生する可能性がある問題について説明します。

- 2 ページの「[Configuration Management と連携させるには、一部の ZENworks パーティションを固定する必要がある](#)」
- 3 ページの「[時刻の同期により無効な証明書エラーが発生する](#)」
- 3 ページの「[MS SQL Server または Oracle データベースを持つ Linux サーバ上でのコマンドラインインストールが失敗する](#)」
- 3 ページの「[ZENworks Asset Management がサーバにインストールされている場合、ZENworks サーバの再起動が 2 回要求される](#)」
- 3 ページの「[サーバまたはエージェントのインストールに長時間を要する](#)」
- 3 ページの「[SSL が有効なユーザソースで設定したユーザを使用してプライマリサーバをインストールできない](#)」

1.5.1 Configuration Management と連携させるには、一部の ZENworks パーティションを固定する必要がある

現在の環境で Novell ZENworks Linux Management - Dell Edition が実行されており、クライアント上に ZENworks パーティションが作成されている場合、パーティションが起動してクライアントを ZENworks 11 Configuration Management に更新しようとする、パーティションが動作しなくなり、更新に失敗します。

解決策: 現在の環境に ZENworks 11 Configuration Management をインストールする前に、Configuration Management を更新するため、まずスクリプトによるイメージングタスクを作成して、すべての ZENworks パーティションで強制的にそのタスクを実行します。

次のスクリプトを作成して、initrd リソースファイルに含まれる /etc/ZUupdate.sig ファイルを修正します。

```
export PATH=/sbin:/usr/sbin:/bin:/usr/bin:/sbin
mount $ZENDEVICE /mnt/harddisk
cp /mnt/harddisk/boot/loader/initrd /initrd.gz
#make a backup of initrd
cp /mnt/harddisk/boot/loader/initrd /mnt/harddisk/boot/loader/initrd.sav
gunzip /initrd.gz
mount -o loop /initrd /mnt/cdrom
cp /mnt/cdrom/etc/ZUpdate.sig /
dos2unix /ZUpdate.sig
cp /ZUpdate.sig /mnt/cdrom/etc
umount /mnt/cdrom
gzip -v9c /initrd > /mnt/harddisk/boot/loader/initrd
umount /mnt/harddisk
```

1.5.2 時刻の同期により無効な証明書エラーが発生する

ZENworks のサービスをインストールする前にネットワーク上で時刻を同期していないと、証明書には未来の日付が設定されているため無効と見なされ、無効な証明書エラーが発生します。

解決策 :ZENworks のサービスをインストールする前に、ネットワークの時刻を同期します。同期には必ず ZENworks のバックエンドサーバを含めてください。

1.5.3 MS SQL Server または Oracle データベースを持つ Linux サーバ上でのコマンドラインインストールが失敗する

Linux サーバ上で ZENworks 11 のコマンドラインインストールを行う際、MS SQL Server または Oracle データベースの作成を選択し、その後既存データベースユーザ名を指定すると、インストールは最後の段階で失敗します。

解決策 :データベースの作成の際に、新規のデータベースユーザ名を指定します。

1.5.4 ZENworks Asset Management がサーバにインストールされている場合、ZENworks サーバの再起動が 2 回要求される

ZENworks Asset Management のインストールの完了後、インストーラが最初の再起動を要求します。ZENworks Asset Management のインストール中にインストールされた可能性がある追加パッケージを削除するため、サーバが再度再起動を要求します。

解決策 :ありません。

1.5.5 サーバまたはエージェントのインストールに長時間を要する

仮想マシンに ZENworks サーバまたは ZENworks Adaptive Agent をインストールする場合、インストールに通常より時間がかかり、ハングしたように見える場合があります。これは VM の作成時に指定したオペレーティングシステムに一致しない VM オペレーティングシステムによって発生する可能性があります。たとえば、VM 作成時にゲスト OS として Windows Vista を選択したが、実際のゲストオペレーティングシステムが Windows 7 である場合などです。

解決策 :インストールを完了するための十分な時間を確保します (最大 4 時間)。

解決策 :ハイパーバイザソフトウェアを VM オペレーティングシステムに一致するゲスト OS を持つバージョンにアップグレードします。たとえば、Windows 7 および Windows Server 2008 R2 (x64) は、7.0 より前のバージョンの VMware ワークステーションまたは ESXi 4.0.0 Build 208167 以前のバージョンの ESX/ESXi ではネイティブにサポートされていません。

1.5.6 SSL が有効なユーザソースで設定したユーザを使用してプライマリサーバをインストールできない

ユーザソースで作成した管理者ユーザを使用してプライマリサーバを追加しようとする場合、インストールログファイルに次のメッセージが表示されます。

```
<Message><MessageID><![CDATA[0000]]></
MessageID><MessageString><![CDATA[ConfigureAction failed!:
com.novell.zenworks.datamodel.exceptions.InternalDataModelException:com.novell
1.zenworks.datamodel.exceptions.UntrustedCertificateException:com.novell.zenwo
orks.datamodel.exceptions.UntrustedCertificateException:javafx.naming.Communic
ationException: simple bind failed:<server:port> [Root exception
isjavax.net.ssl.SSLHandshakeException:
java.security.cert.CertificateException:No trusted certificate found]
```

解決策 :ZENworks 11 で作成した管理者ユーザを使用する必要があります。SSL が有効なユーザソースで設定したユーザはゾーンにプライマリサーバを追加できない場合があります。

ユーザの作成に関する詳細については、『ZENworks 11 システム管理リファレンス (http://www.novell.com/documentation/beta/zenworks11/zen11_system_admin/data/bookinfo.html)』を参照してください。

2 運用上の既知の問題

このセクションでは、ZENworks 11 の使用時に発生する可能性がある ZENworks 11 の問題について説明します。

- ◆ 5 ページのセクション 2.1 「一般的な問題」
- ◆ 5 ページのセクション 2.2 「Asset Management」
- ◆ 6 ページのセクション 2.3 「AdminStudio」
- ◆ 6 ページのセクション 2.4 「バンドル」
- ◆ 7 ページのセクション 2.5 「Endpoint Security Management」
- ◆ 9 ページのセクション 2.6 「Intel Active Management Technology」
- ◆ 10 ページのセクション 2.7 「Linux パッケージ管理」
- ◆ 11 ページのセクション 2.8 「ロケーション」
- ◆ 12 ページのセクション 2.9 「ログイン」
- ◆ 12 ページのセクション 2.10 「マイグレーション」
- ◆ 13 ページのセクション 2.11 「パッチ管理」
- ◆ 14 ページのセクション 2.12 「Personality Migration」
- ◆ 15 ページのセクション 2.13 「ポリシー」
- ◆ 16 ページのセクション 2.14 「リモート管理」
- ◆ 16 ページのセクション 2.15 「レポート機能」
- ◆ 22 ページのセクション 2.16 「サテライト」
- ◆ 24 ページのセクション 2.17 「ZENworks Adaptive Agent」
- ◆ 24 ページのセクション 2.18 「ZENworks コントロールセンター」
- ◆ 25 ページのセクション 2.19 「Zman」

2.1 一般的な問題

このセクションでは、ZENworks 11 の使用時に発生する可能性がある一般的な問題について説明します。

- ◆ 5 ページの「ツールバー上のアプリケーションをキーボードで選択できない」
- ◆ 5 ページの「ZENworks 設定がデバイスに直ちに適用されない場合がある」
- ◆ 5 ページの「ZENworks コントロールセンターの複数のセッションで同時に操作を実行すると例外が発生する可能性がある」

2.1.1 ツールバー上のアプリケーションをキーボードで選択できない

デフォルトでは、Windows ではツールバーにキーボードでアクセスすることはできません。

解決策 : Windows でユーザ補助のオプションを有効にし、ユーザ補助の設定ウィザードを使用してマウスキーの設定を有効にします。これにより、数字キーパッドを使ってマウスの機能を制御できるようになります。

2.1.2 ZENworks 設定がデバイスに直ちに適用されない場合がある

ZENworks コントロールセンターまたは zman コマンドを使用してゾーン、デバイスフォルダ、または個々のデバイスで行う設定は、デバイスに適用されるまで約 10 分かかる場合があります。

解決策 : 設定後デバイスに直ちにその設定を適用したい場合、設定を行っている各管理対象デバイス上で次のコマンドを手動で実行してください。

```
zac ref bypasscache
```

2.1.3 ZENworks コントロールセンターの複数のセッションで同時に操作を実行すると例外が発生する可能性がある

ZENworks コントロールセンターが複数のブラウザで開かれ、その内の 1 つのブラウザであるオブジェクトに対して操作を実行することを選択すると、同じオブジェクトが他のブラウザで変更されているかアクセスされている場合に例外が発生する可能性があります。

たとえば、ZENworks コントロールセンターのあるセッションであるオブジェクトを更新する場合に、更新しようとするオブジェクトと同じオブジェクトが ZENworks コントロールセンターの別のセッションで削除されている場合です。

解決策 : ありません。

2.2 Asset Management

このセクションでは、Asset Management を使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 6 ページの「Oracle データベースに接続されている ZENworks 11 Configuration Management への ZENworks 7.5 Asset Management オブジェクトの移行が失敗する」

2.2.1 Oracle データベースに接続されている ZENworks 11 Configuration Management への ZENworks 7.5 Asset Management オブジェクトの移行が失敗する

ZENworks Asset Management 7.5 ゾーンが Oracle データベースに接続されている場合、ZENworks 11 Asset Management への ZENworks Asset Management 7.5 オブジェクトの移行は、Oracle クライアントのバージョンが 10.2.0.x の場合には認証エラーで失敗します。

解決策：オブジェクトを移行する前に次のいずれかを実行します。

- ◆ Oracle 10.2.0.x クライアントを Oracle 11.2.0 にアップグレードする
- ◆ Oracle 10.2.0.x クライアントを Oracle 10.1.0.2 にダウングレードする

詳細については、TID 7006490 (<http://www.novell.com/support/>) を参照してください。

2.3 AdminStudio

このセクションでは、AdminStudio 9.5 の Standard Edition で発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 6 ページの「[AdminStudio Distribution ウィザードを使用して既存のバンドルをアップデートできない](#)」

2.3.1 AdminStudio Distribution ウィザードを使用して既存のバンドルをアップデートできない

ZENworks Configuration Management の AdminStudio Distribution ウィザードの [Bundle Creation(バンドル作成)] ページで、[Update an existing bundle using these Windows Installer package files(これらの Windows インストーラパッケージファイルを使用して既存のバンドルをアップデート)] オプションを選択すると、ZENworks サーバ上の既存のバンドルが [バンドル] ツリーに表示されません。このため、ウィザードを続行できません。詳細については、[Novell Support Knowledgebase \(http://support.novell.com\)](http://support.novell.com) で TID 7005162 を参照してください。

解決策：ありません。

2.4 バンドル

このセクションでは、ZENworks Configuration Management でバンドルを使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 6 ページの「[ZENworks コントロールセンターでバンドルを無効または有効にする際に、バンドルのページに変更がすぐに反映されない](#)」
- ◆ 7 ページの「[バンドルのコンテンツ複製設定がバンドルのサンドボックスバージョンと古いバージョンに対して有効になっていない](#)」

2.4.1 ZENworks コントロールセンターでバンドルを無効または有効にする際に、バンドルのページに変更がすぐに反映されない

最近開いたバンドルを無効または有効にするために ZENworks コントロールセンターを使用している場合、変更内容はバンドルのページにすぐに反映されません。

解決策 :ZENworks コントロールセンターで、バンドルページを更新して変更内容を反映します。

2.4.2 バンドルのコンテンツ複製設定がバンドルのサンドボックスバージョンと古いバージョンに対して有効になっていない

バンドルのコンテンツ複製設定はバンドルの発行済みバージョンにのみ適用されます。ただし、バンドルのサンドボックスバージョンと古いバージョンは、フォルダレベルまたはゾーンレベル (その順序) で設定が適用されています。

解決策 : バンドルのすべてのバージョンに同じコンテンツ複製設定を適用するには、次のいずれかを実行します。

- ◆ フォルダまたはゾーンレベルで設定を上書きします。ただし、これはフォルダまたはゾーン内のすべてのバンドルに影響を及ぼします。
- ◆ フォルダにバンドルを移動して、フォルダレベルで設定を上書きします。ただし、これはフォルダ内のすべてのバンドルに影響を及ぼします。

2.5 Endpoint Security Management

このセクションでは、ZENworks Endpoint Security Management を使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 7 ページの「エンドポイントセキュリティエージェントは高速ユーザ切り替えに対するユーザ割り当てポリシーをサポートしていない」
- ◆ 7 ページの「VM オペレーティングシステムがシャットダウン時にクラッシュする」
- ◆ 8 ページの「エンドポイントセキュリティゾーン設定の即時更新を強制する」
- ◆ 8 ページの「RSD パスワード暗号化フォルダにファイルをコピーする際にハングが発生する」
- ◆ 8 ページの「復号化パスワードが入力されていない場合に RSD へのアクセスが拒否される」
- ◆ 8 ページの「Windows 7 64 ビットデバイスで診断パッケージを作成しているときに断続的にクラッシュする」
- ◆ 9 ページの「Windows ファイアウォールのパズベースの例外が機能していない」

2.5.1 エンドポイントセキュリティエージェントは高速ユーザ切り替えに対するユーザ割り当てポリシーをサポートしていない

エンドポイントセキュリティエージェントは、高速ユーザ切り替え (つまり、アプリケーションを終了してログアウトせずにユーザアカウント間を切り替えること) が使用されているデバイスでのユーザ割り当てセキュリティポリシーをサポートしていません。

解決策 : 高速ユーザ切り替えが必要な環境では、ユーザにではなく、デバイスにセキュリティポリシーを割り当てます。

2.5.2 VM オペレーティングシステムがシャットダウン時にクラッシュする

Windows XP または Windows 7 などの VM クライアントオペレーティングシステムでエンドポイントセキュリティエージェントを実行する場合、VM オペレーティングシステムは手動でシャットダウンする際にクラッシュする可能性があります。

解決策：ありません。

2.5.3 エンドポイントセキュリティゾーン設定の即時更新を強制する

デフォルトでは、管理ゾーン設定は ZENworks サーバ上にキャッシュされ、キャッシュは 10 分ごとに更新されます。このため、ゾーン設定に変更が行われる場合、デバイスは次にキャッシュが更新されるまで (10 分ほどかかる場合がある) 変更を受け取りません。

ZENworks Endpoint Security Management の場合、ゾーン設定として以下が保存されます。

- ◆ 場所とネットワーク環境設定
- ◆ ゾーンセキュリティポリシー
- ◆ 有効なポリシーレポート設定
- ◆ データ暗号化キー

これらの設定のいずれかを変更し、デバイスに直ちに適用する場合は、デバイス上で `zac` コマンドラインユーティリティを使用して ZENworks サーバキャッシュをバイパスし、新しい設定を取得する必要があります。これを行うには、デバイス上で次のコマンドを実行します。

```
zac ref general bypasscache
```

2.5.4 RSD パスワード暗号化フォルダにファイルをコピーする際にハングが発生する

リムーバブルストレージデバイス (RSD) 上のパスワード暗号化フォルダにファイルをコピーする際に、[パスワード暗号化] ダイアログボックスに暗号化パスワードを入力する前に [コピー] ダイアログボックスを使用してコピーをキャンセルすると、コピープロセスは応答を停止し、デバイスがハングしているように見えます。

解決策：[コピー] ダイアログボックスではなく、[パスワード暗号化] ダイアログボックスの [キャンセル] ボタンを使用してコピーをキャンセルします。

2.5.5 復号化パスワードが入力されていない場合に RSD へのアクセスが拒否される

デバイスに適用されるデータ暗号化ポリシーが復号化パスワードを要求するように設定されている場合、復号化パスワードが Safe Harbor フォルダとリムーバブルストレージデバイスの両方に適用されます。Safe Harbor またはリムーバブルストレージデバイスのいずれかを使用する前にパスワードを入力する必要があります。

復号化パスワードのプロンプトが Windows スタートアップ時に表示されます。デバイスのユーザが復号化パスワードを入力する前に USB デバイスが挿入され、ユーザがデバイスにアクセスしようとする、アクセスが拒否されます。ユーザが復号化パスワードを入力した後でのみデバイスがアクセス可能になります。

2.5.6 Windows 7 64 ビットデバイスで診断パッケージを作成しているときに断続的にクラッシュする

Windows 7 64 ビットデバイス上で診断パッケージが最初に作成されるときに Windows クラッシュが発生する場合があります。このクラッシュは断続的であり、すべてのマシン上で発生するわけではありません。

解決策：診断パッケージが最初に作成されるときにのみクラッシュが発生します。マシンを再起動して、もう一度診断パッケージを作成します。

2.5.7 Windows ファイアウォールのパスベースの例外が機能していない

Windows XP/Vista/7 デバイス上でデータ暗号化ポリシーの施行後に、Windows XP および Windows Vista ユーザは Windows ファイアウォールインタフェースを介して Windows ファイアウォールに新しいパスベースの例外を追加することはできません。Windows XP/Vista/7 の場合、データ暗号化ポリシーの施行前にデバイス上に存在していたすべてのパスベースの例外は機能しなくなります。

解決策 :Windows XP および Windows Vista 上で新しいパスベースの例外を追加します。

- 1 Windows レジストリで、次のキーを見つけます。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Zesoc
- 2 ReparseExclusions 値を見つけます。
これは次の文字列を使用してあらかじめ入力される REG_MULTI_SZ 値です。
\PROGRAM FILES\NOVELL\ZENWORKS\BIN\NZRWINVNC.EXE
- 3 別のアプリケーションを追加するには、ReparseExclusions 値をダブルクリックして、値データリストにアプリケーションパスを指定します。
パスにドライブ文字を含めないでください。手順 2 に示すように、パスはルートを基準にした相対パスです。
- 4 コンピュータを再起動します。
- 5 Windows ファイアウォールインタフェースを介してアプリケーションを追加します。

解決策 :Windows XP/Vista/7 で機能するように既存のパスベースの例外を有効にします。

- 1 Windows レジストリで、次のキーを見つけます。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Zesoc
- 2 ReparseExclusions 値を見つけます。
これは次の文字列を使用してあらかじめ入力される REG_MULTI_SZ 値です。
\PROGRAM FILES\NOVELL\ZENWORKS\BIN\NZRWINVNC.EXE
- 3 Windows ファイアウォールで例外としてすでに定義されているアプリケーションを追加するには、ReparseExclusions 値をダブルクリックして、値データリストのアプリケーションパスを指定します。
パスにドライブ文字を含めないでください。手順 2 に示すように、パスはルートを基準にした相対パスです。
- 4 コンピュータを再起動します。

2.6 Intel Active Management Technology

このセクションでは、ZENworks Configuration Management で Intel AMT を使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 10 ページの「Intel AMT デバイスが正しい資格情報を入力しても検出されない」
- ◆ 10 ページの「検索フィルタから iAMT デバイスをプロビジョニング、アンプロビジョニング、削除、または検索できない」

2.6.1 Intel AMT デバイスが正しい資格情報を入力しても検出されない

プロビジョニング中に Intel AMT デバイス上で資格情報を入力すると、デバイスが検出されない場合があります。

解決策: デバイスが検出されるようにするには、次の手順を使用してデバイスを再プロビジョニングします。

- 1 デバイスをアンプロビジョニングして、リモート設定を無効にします。
- 2 変更を保存して、デバイスを再起動します。
- 3 デバイスが再起動されたら、BIOS 画面に入り、リモート設定を有効にします。
- 4 資格情報を入力して、デバイスをプロビジョニングします。
- 5 デバイスが検出されているか確認します。手順 1 ~ 手順 5 を繰り返して、デバイスが検出されるまでデバイスを再プロビジョニングします。

2.6.2 検索フィルタから iAMT デバイスをプロビジョニング、アンプロビジョニング、削除、または検索できない

検索フィルタから iAMT デバイスをプロビジョニング、アンプロビジョニング、削除、または検索中に Novell ZENworks ロードサービスを再起動すると、デバイスのステータスが「中止」になります。

解決策: アンプロビジョニングして Intel AMT デバイスを削除します。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 [検出済み] をクリックします。
- 3 [Intel AMT デバイス] リンクをクリックして、すべての検出済み Intel AMT デバイスを表示します。
- 4 プロビジョニングする Intel AMT デバイスを選択して、[アクション] > [アンプロビジョニング] の順にクリックします。
- 5 アンプロビジョニングが失敗した後で Intel AMT デバイスを削除する場合、[アンプロビジョニングが失敗するとデバイスを削除します] チェックボックスをオンにします。
- 6 [OK] をクリックします。

Intel AMT デバイスをプロビジョニングする場合は設定を行う必要があります。

AMT デバイスの設定方法に関する詳細については、『[Novell ZENworks 11 Out-Of-Band Management ガイド](http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_outofband_mgmt/data/bookinfo.html) (http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_outofband_mgmt/data/bookinfo.html)』を参照してください。

2.7 Linux パッケージ管理

このセクションでは、ZENworks Configuration Management で Linux パッケージ管理を使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 11 ページの「[zac dup コマンド](#)を使用して OES 2 SP1 管理対象デバイスを OES 2 SP2 にアップグレードできない」

- ◆ 11 ページの「停止アクションセットが管理対象デバイスの Linux バンドルおよび Linux パッチバンドルに対してサポートされていない」
- ◆ 11 ページの「ZENworks サーバで ZLM サブスクリプションを複製できない」

2.7.1 zac dup コマンドを使用して OES 2 SP1 管理対象デバイスを OES 2 SP2 にアップグレードできない

zac dup コマンドを使用して OES 2 SP1 管理対象デバイスを OES 2 SP2 にアップグレードすると、メモリ不足例外でアップグレードが失敗します。これは ZENworks Adaptive Agent がアップグレードにデフォルトで 128 MB の JVM メモリを使用するが、このメモリでは大きなバンドルおよびパッケージを処理できないためです。

解決策 :OES 2 SP1 管理対象デバイスの JVM メモリサイズを増やしてから OES 2 SP2 にアップグレードします。

- 1 /etc/init.d/novell-zenworks-xplatzmd ファイルをテキストエディタで開きます。
- 2 このファイルの PARAMS to JSVC セクションを検索して、EXTRA_OPTS 変数を検索します。
- 3 次のように -Xms256m -Xmx256m を EXTRA_OPTS 変数に付加します。

```
EXTRA_OPTS="-Xms256m -Xmx256m -
Djavax.xml.stream.XMLInputFactory=com.ctc.wstx.stax.WstxInputFactory -
Djavax.xml.stream.XMLOutputFactory=com.ctc.wstx.stax.WstxOutputFactory -
Djavax.xml.stream.XMLEventFactory=com.ctc.wstx.stax.WstxEventFactory -
Djava.rmi.server.hostname=127.0.0.1"
```
- 4 /etc/init.d/novell-zenworks-xplatzmd ファイルを保存します。
- 5 /etc/init.d/novell-zenworks-xplatzmd restart コマンドを実行して、ZENworks Adaptive Agent を再起動します。

2.7.2 停止アクションセットが管理対象デバイスの Linux バンドルおよび Linux パッチバンドルに対してサポートされていない

解決策 : ありません。

2.7.3 ZENworks サーバで ZLM サブスクリプションを複製できない

[バンドル GUID の維持] オプションを選択して ZLM サブスクリプションを複製して作成されたバンドルを削除した後で、[バンドル GUID の維持] オプションを選択して再度 ZLM サブスクリプションを直ちに複製することを選択と、複製が失敗する可能性があります。

解決策 : 再度 ZLM サブスクリプションの複製を開始する前に少なくとも 15 分待機します。

2.8 ロケーション

このセクションでは、ZENworks 11 でロケーションおよびネットワーク環境を使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 12 ページの「ZENworks データベースは ZENworks Server Service が起動する前に実行している必要がある」

2.8.1 ZENworks データベースは ZENworks Server Service が起動する前に実行している必要がある

ZENworks データベースは、ZENworks Location Web Service がそのデータベースに有効なサービスへの参照を取得できるように、ZENworks Server Service が起動する前に実行している必要があります。

2.9 ログイン

このセクションでは、ZENworks 11 でさまざまな場所にログインする際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 12 ページの「サポートされていない DNS 文字をサーバ名に使用していると、Internet Explorer で ZENworks コントロールセンターへのログインに失敗する」

2.9.1 サポートされていない DNS 文字をサーバ名に使用していると、Internet Explorer で ZENworks コントロールセンターへのログインに失敗する

Microsoft のセキュリティ修正プログラム (Microsoft サポート技術情報の記事 [312461 \(http://support.microsoft.com/default.aspx/kb/312461\)](http://support.microsoft.com/default.aspx/kb/312461) を参照) を適用すると、特定の文字がサーバ名に使用されているとクッキーが返されなくなるため、それらの文字を DNS 名に使用できなくなります。クッキーが返されないと、複数の HTML 要求間で状態情報を維持できないため、ユーザは ZENworks コントロールセンターにログインできません。

Windows で DNS 名に使用できる文字は、英文字 (a ~ z)、数字、およびハイフンのみです。たとえば、下線文字を使用することはできません。代わりにハイフンを使用してください。

これは、Mozilla Firefox ブラウザでは、Windows 上で実行されていても問題になりません。

解決策：

- ◆ DNS 名ではなく IP アドレスを参照します。
- ◆ サーバが使用している IP アドレスに対応する有効な DNS 名を参照します。たとえば、サーバ名が A_Server.mycompany.com であっても、その IP アドレスに対する DNS 登録が Aserver.mycompany.com であれば、これは有効です。
- ◆ ZENworks コントロールセンターを実行するために Internet Explorer しか使わない場合は、サーバ名にアンダースコアを使用しないでください。

2.10 マイグレーション

このセクションでは、ZENworks Configuration Management へのマイグレーション時に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 13 ページの「Firefox 3.0.x ブラウザでマイグレーションヘルプファイルを表示できない」

2.10.1 Firefox 3.0.x ブラウザでマイグレーションヘルプファイルを表示できない

ZENworks Configuration Management Migration Utility を Firefox 3.0.x がデフォルトブラウザとして設定されているデバイスで実行すると、[ヘルプ] アイコンをクリックしてもヘルプファイルが表示されません。

解決策 :Firefox 2.0 または Internet Explorer をデバイスのデフォルトブラウザとして設定します。

2.11 パッチ管理

このセクションでは、ZENworks 11 Patch Management を使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 13 ページの「一部のパッチ用に Windows Installer をアップデートする必要がある」
- ◆ 13 ページの「少数のパッチを SLES 11 SP1 で展開できない」
- ◆ 14 ページの「ZENworks コントロールセンターでカスタムパッチを有効または無効にすると例外が発生して失敗する」

2.11.1 一部のパッチ用に Windows Installer をアップデートする必要がある

特定の .NET パッチを展開するには最新の Windows Installer をインストールしなければならない場合があります。そうしないと、これらのパッチの展開時にエラーが発生する可能性があります。

解決策 :.NET パッチを展開する前に、Windows Installer のあるバージョンが前提条件になっているかどうかを確認してください。必要な場合は、システムに最新の Windows Installer(バージョン 3.1 以降)を展開するためのバンドルを作成します。Windows Installer は、[Microsoft \(http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=889482fc-5f56-4a38-b838-de776fd4138c&displaylang=en\)](http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=889482fc-5f56-4a38-b838-de776fd4138c&displaylang=en) から利用できます。

2.11.2 少数のパッチを SLES 11 SP1 で展開できない

パッチ管理は SLES 11 SP1 で次のパッチを展開できません。

SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2473 libpng12-0 セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2570 カーネルセキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2598 libsnmp15 推奨更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2609 MozillaFirefox セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2647 popt セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2764 カーネルセキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2781 MozillaFirefox セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2822 gpg2 セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2919 freetype2 セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:2980 libHX13 セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:3046 libpng-devel セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:3069 カーネルセキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:3125 bzip2 セキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:3148 カーネルセキュリティ更新
SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:3160 MozillaFirefox セキュリティ更新

SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:3202 freetype2 セキュリティ更新

SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:3243 libmysqlclient-devel セキュリティ更新

SLES 11 SP1 x86_64 用 Novell SUSE 2010:3280 カーネルセキュリティ更新

2.11.3 ZENworks コントロールセンターでカスタムパッチを有効または無効にすると例外が発生して失敗する

解決策: カスタムパッチを無効および有効にすることは現在サポートされていません。カスタムパッチはデフォルトで有効になっています。カスタムパッチが必要ない場合は削除します。

2.12 Personality Migration

このセクションでは、ZENworks Configuration Management のパーソナリティマイグレーションを使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- 14 ページの「パーソナリティマイグレーションをスタンドアロンアプリケーションとして使用している場合、PNP ファイルを複数のファイルにスパンするには、パスワードが要求される」
- 14 ページの「宛先デバイスにプリンタをインストールできない」
- 14 ページの「PNP ファイルを認証されたネットワーク共有に保存または適用できない」

2.12.1 パーソナリティマイグレーションをスタンドアロンアプリケーションとして使用している場合、PNP ファイルを複数のファイルにスパンするには、パスワードが要求される

設定およびデータを .pnp ファイルに保存する際に、[高度なファイルオプション] を使用するよう選択してコンテンツを複数のファイルに分割した場合、[PNP ファイル暗号化パスワード] オプションでパスワードを指定する必要があります。

解決策: ありません。

2.12.2 宛先デバイスにプリンタをインストールできない

解決策: プリンタの設定をソースデバイスから宛先デバイスにマイグレートする前に、次を実行します。

- 1 C:、D:、または E: など任意の論理ドライブに PrinterDrivers という名前のディレクトリを作成します。
- 2 ドライバをダウンロードし、圧縮解除したドライバを PrinterDrivers ディレクトリにコピーします。

2.12.3 PNP ファイルを認証されたネットワーク共有に保存または適用できない

[パーソナリティの保存] または [パーソナリティの適用] アクションを使用してバンドルを作成すると、バンドルは常にダイナミック管理者として実行されます。ダイナミック管理者は認証されたネットワーク共有への読み込みまたは書き込み権限がないため、PNP ファイルを認証されたネットワーク共有から保存または適用できません。

解決策: パーソナリティを保存して適用するには、[パーソナリティの保存] および [パーソナリティの適用] アクションを使用してバンドルを作成する際に、ユーザグループ Everyone に共有場所への書き込みおよび読み込み権限を設定する必要があります。

2.13 ポリシー

このセクションでは、ZENworks 11 Policy Management を使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 15 ページの「一部のポリシー設定がターミナルサーバセッションで適用できない場合がある」
- ◆ 15 ページの「ローミングプロファイルが Windows 2008 R2 サーバに保存される場合に Windows 管理対象デバイス上で機能しない」
- ◆ 15 ページの「ZENworks コントロールセンターでポリシーを無効または有効にする際に、ポリシーページに変更がすぐに反映されない」
- ◆ 16 ページの「ポリシーのコンテンツ複製設定がポリシーのサンドボックスバージョンと古いバージョンに対して有効になっていない」

2.13.1 一部のポリシー設定がターミナルサーバセッションで適用できない場合がある

一部のポリシーはユーザがターミナルサーバセッションにログインする際に適用できない場合があります。ポリシーは通常、次のデバイス更新スケジュール時に自動的に適用されます。たとえば、グループポリシーで設定されるブラウザブックマークポリシー、iPrint ポリシー、および Internet Explorer Maintenance 設定は、デバイスに適用されません。

ZEN ユーザデーモンは、ポリシーがデバイスに適用されたときに起動していない場合があります。

解決策: デバイスにすぐにポリシーを適用したい場合は、次のいずれかの方法で手動で ZENworks Adaptive Agent を更新する必要があります。

- ◆ ZENworks アイコンを右クリックして、[更新] を選択します。
- ◆ コマンドプロンプトで、`zac ref` コマンドを実行します。

2.13.2 ローミングプロファイルが Windows 2008 R2 サーバに保存される場合に Windows 管理対象デバイス上で機能しない

Windows 2008 R2 共有ロケーションにローミングプロファイルを作成することは Windows 管理対象デバイスではサポートされていません。ローミングプロファイルにアクセスしようとする、Windows はローカルまたは一時プロファイルに自動的にログインします。

解決策: ありません。

2.13.3 ZENworks コントロールセンターでポリシーを無効または有効にする際に、ポリシーページに変更がすぐに反映されない

最近開いているポリシーを無効または有効にするために ZENworks コントロールセンターを使用している場合、変更内容はポリシーページにすぐに反映されません。

解決策: ZENworks コントロールセンターで、ポリシーページを更新して変更内容を反映します。

2.13.4 ポリシーのコンテンツ複製設定がポリシーのサンドボックスバージョンと古いバージョンに対して有効になっていない

ポリシーのコンテンツ複製設定はポリシーの発行済みバージョンにのみ適用されます。ただし、ポリシーのサンドボックスバージョンと古いバージョンは、フォルダレベルまたはゾーンレベル(その順序)で設定が適用されています。

解決策: 同じコンテンツ複製設定を取得するためにポリシーのすべてのバージョンを有効にするには、次のいずれかを実行します。

- ◆ フォルダまたはゾーンレベルで設定を上書きします。ただし、これはフォルダまたはゾーン内のすべてのポリシーに影響を及ぼします。
- ◆ フォルダにポリシーを移動して、フォルダレベルで設定を上書きします。ただし、これはフォルダ内のすべてのポリシーに影響を及ぼします。

2.14 リモート管理

このセクションでは、ZENworks Configuration Management のリモート管理機能を使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 16 ページの「Windows XP デバイスにおいて、リモートデスクトップ接続を使用して ZENworks Adaptive Agent とリモート管理コンポーネントをインストールすると失敗する」
- ◆ 16 ページの「Red Hat Enterprise Linux デバイス上のリモート管理ビューアのインストールがサポートされていない」

2.14.1 Windows XP デバイスにおいて、リモートデスクトップ接続を使用して ZENworks Adaptive Agent とリモート管理コンポーネントをインストールすると失敗する

リモートデスクトップ接続 (RDP) を使用して管理対象デバイスにリモート接続している場合、ZENworks Adaptive Agent をダウンロードしてインストールすると、インストールが完了せず、リモートデスクトップ接続プログラムが動作を停止します。

解決策: 問題を解決するには [Microsoft サポート Web サイト \(http://support.microsoft.com/kb/952132\)](http://support.microsoft.com/kb/952132) からパッチをダウンロードして、管理対象デバイスにインストールします。

2.14.2 Red Hat Enterprise Linux デバイス上のリモート管理ビューアのインストールがサポートされていない

解決策: SUSE Linux Enterprise Server または SUSE Linux Enterprise Desktop デバイス上にリモート管理ビューアをインストールします。

2.15 レポート機能

ZENworks レポートینگソリューションは BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 3 (SP3) に基づいています。このセクションでは、ZENworks レポートینگを使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。BusinessObjects Enterprise XI 3.1 SP3 の

操作中に発生する可能性があるその他のエラーメッセージをトラブルシューティングするには、BusinessObjects XI のマニュアルの Web サイト (http://help.sap.com/businessobject/product_guides/) を参照してください。

- ◆ 17 ページの「セッションの期限が切れた後に、ZENworks Reporting Server InfoView を起動できない」
- ◆ 18 ページの「セッション終了時にログアウトせずに [ZENworks Reporting Server InfoView] ページを閉じると、ZENworks Reporting Server InfoView を再起動できなくなる」
- ◆ 18 ページの「ZENworks Reporting Server InfoView を起動できない」
- ◆ 18 ページの「ZENworks Reporting Server をインストールした後、Report Engine Server の初期化に失敗する」
- ◆ 19 ページの「ZENworks 10 Configuration Management SP2 で作成された管理者アカウントを使用して ZENworks コントロールセンターにログインすると、ZENworks Reporting が失敗する」
- ◆ 19 ページの「Firefox 3.5 の新しいブラウザウィンドウで表示しようとする時、[User Details(ユーザ詳細)] レポートデータが表示されない」
- ◆ 20 ページの「ZENworks Reporting Server が Linux プライマリサーバにインストールされている場合に、ZENworks データベースが MS SQL Server データベースであり、認証モードが Windows 認証の場合、レポート機能が動作しない」
- ◆ 20 ページの「ZENworks Reporting Server が一部の BusinessObjects XI 3.1 SP3 機能をサポートしていない」
- ◆ 20 ページの「Windows Server 2008 R2 デバイス上での ZENworks Reporting Server インストールが失敗する」
- ◆ 20 ページの「レポートサーバーを ZENworks 10 Configuration Management SP3 から ZENworks 11 に移行した後で起動ステータスオブジェクトが使用できない」
- ◆ 21 ページの「カスタムレポートの生成時に、管理可能なデバイスフィルタに Linux、Windows 7、および Windows Server 2008 R2 デバイスが表示されない」
- ◆ 21 ページの「中国語ロケールでディレクトリを作成する際に ZENworks Reporting Server InfoView に迷惑メール文字が表示される」
- ◆ 22 ページの「GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストールが OES 2 SP2 x86_64 でハングする」

2.15.1 セッションの期限が切れた後に、ZENworks Reporting Server InfoView を起動できない

ZENworks Reporting Server InfoView セッションの期限が切れると、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
Unable to reconnect to the CMS <server-name>:6400. The session has been logged off or has expired. (FWM 01002)
```

解決策 : 次の手順を実行します。

- 1 ブラウザからクッキーを削除します。
- 2 すべてのブラウザインスタンスを閉じます。
- 3 ZENworks コントロールセンターにログインし、ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。

2.15.2 セッション終了時にログアウトせずに [ZENworks Reporting Server InfoView] ページを閉じると、ZENworks Reporting Server InfoView を再起動できなくなる

解決策: [ZENworks Reporting Server InfoView] ([ZENworks コントロールセンター] > [レポート]) を 2 回クリックして、[ZENworks Reporting Server InfoView] ページを再起動します。

最初のクリックで以前のセッションで作成されたすべてのクッキーが削除され、次のクリックで [ZENworks Reporting Server InfoView] ページが表示されます。

ZENworks Reporting Server InfoView セッションを終了するには、[ZENworks Reporting Server InfoView] ページで [ログアウト] をクリックしてください。

2.15.3 ZENworks Reporting Server InfoView を起動できない

この問題は、Central Management Server の起動が失敗したときに発生します。
%ZENWORKS_HOME%\logs\zcc.log ファイルに次のエラーメッセージが表示されます。

```
cause:com.crystaldecisions.enterprise.ocaframework.OCAFrameworkException$NotFoundInDirectory: Server <Server_name>:6400 not found or server may be down (FWM 01003)
cause:java.net.ConnectException: Connection refused: connect
detail:Server <Server_name>:6400 not found or server may be down (FWM 01003)
Connection refused: connect
detail:Server <Server_name>:6400 not found or server may be down (FWM 01003)
Connection refused: connect
```

解決策 1: [Business Objects Board フォーラム \(http://www.forumtopics.com/busobj/viewtopic.php?t=130869&sid=65493e4d62ff5f29ce532038996adab5\)](http://www.forumtopics.com/busobj/viewtopic.php?t=130869&sid=65493e4d62ff5f29ce532038996adab5) を参照します。

解決策 2: [Novell サポート \(http://www.novell.com/support\)](http://www.novell.com/support) に問い合わせます。

2.15.4 ZENworks Reporting Server をインストールした後、Report Engine Server の初期化に失敗する

Report Engine Server の初期化が失敗したとき、次のエラーメッセージが表示されます。

```
Cannot initialize Report Engine server. (Error: RWI 00226) (Error: INF)
```

この問題は、管理者が Web Intelligence Report (WEBi) を実行しようとするときに発生する場合があります。

解決策 1: 次の手順を実行します。

- 1 ZENworks Reporting Server InfoView からログアウトします。
- 2 ブラウザからクッキーを削除します。
- 3 すべてのブラウザインスタンスを閉じます。
- 4 ZENworks コントロールセンターにログインし、ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。

解決策 2: この場合、ブラウザクッキーを削除した後もエラーメッセージが表示されません。次を実行します。

Windows の場合： Server Intelligence Agent を再起動します。

- 1 デスクトップの [スタート] メニューから、[プログラム] > [ZENworks Reporting Server] > [ZENworks Reporting Server] > [Central Configuration Manager] > [Server Intelligent Agent] の順にクリックして、Central Configuration Manager ウィンドウを表示します。
- 2 [Restart(再起動)] をクリックします。
- 3 サービスが再起動するまで、2～3分待機します。

Linux の場合： BusinessObjects Enterprise サービスを再起動します。

- 1 以下のコマンドをルートユーザとして実行して、BusinessObjects Enterprise サービスを停止します。

```
/etc/init.d/BobjEnterprise120 stop
```

- 2 すべてのサービスが停止するまで、2～3分待機します。
- 3 次のコマンドをルートユーザとして実行することにより、BusinessObjects Enterprise サービスを開始します。

```
/etc/init.d/BobjEnterprise120 start
```

- 4 すべてのサービスが開始するまで、2～3分待機します。

2.15.5 ZENworks 10 Configuration Management SP2 で作成された管理者アカウントを使用して ZENworks コントロールセンターにログインすると、ZENworks Reporting が失敗する

ZENworks Reporting には、ZENworks 10 Configuration Management SP2 ユーザソースを使用して作成されたユーザへの参照がありません。このため、ZENworks Configuration Management 10 SP2 で作成された管理者アカウント (Administrator@windowdomain.com など) を使用して ZENworks コントロールセンターにログインすると、ZENworks Reporting が失敗します。

解決策 :ZENworks Reporting Server で、以下のコマンドを使用して、ZENworks 10 Configuration Management SP2 ユーザソースを使用して作成された管理者アカウントのユーザを作成します。

```
zman rpau complete_user_name
```

ここで、*complete_user_name* は Administrator@windowdomain.com などの管理者アカウントです。

2.15.6 Firefox 3.5 の新しいブラウザウィンドウで表示しようとすると、[User Details(ユーザ詳細)] レポートデータが表示されない

ZENworks Reporting Server InfoView を Firefox 3.5 で起動し、[Create Hyperlink(ハイパーリンクの作成)] ダイアログボックスでターゲットウィンドウとして [New Window(新規ウィンドウ)] を選択して ZENworks レポートを [User Details(ユーザ詳細)] レポートにリンクすると、[User Details(ユーザ詳細)] レポートデータが新しいブラウザウィンドウに表示されません。

解決策 :ZENworks レポートを Firefox 3.5 ブラウザで [User Details(ユーザ詳細)] レポートにリンクする際、[Create Hyperlink(ハイパーリンクの作成)] ダイアログボックスでターゲットウィンドウとして [Current Window(現在のウィンドウ)] を選択します。

2.15.7 ZENworks Reporting Server が Linux プライマリサーバにインストールされている場合に、ZENworks データベースが MS SQL Server データベースであり、認証モードが Windows 認証の場合、レポート機能が動作しない

解決策 :Novell Support (<http://www.novell.com/support/microsites/microsite.do>) で TID 7006288 を参照してください。

2.15.8 ZENworks Reporting Server が一部の BusinessObjects XI 3.1 SP3 機能をサポートしていない

BusinessObjects XI 3.1 SP3 の以下の機能は ZENworks Reporting Server でサポートされていません。

- ◆ Encyclopedia
- ◆ Crystal Reports
- ◆ My Dashboard

2.15.9 Windows Server 2008 R2 デバイス上での ZENworks Reporting Server インストールが失敗する

IP Helper サービスが Windows Server 2008 R2 デバイス上で実行されている場合、ZENworks Reporting Server のインストールが失敗します。

解決策 :IP Helper サービスを無効にします。

- 1 [スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス] の順にクリックします。
- 2 [IP Helper] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。
- 3 [スタートアップタイプ] ドロップダウンリストで、[無効] を選択します。
- 4 [適用] をクリックし、デバイスを再起動します。
- 5 ZENworks Reporting Server をインストールします。

レポートサーバのインストールの詳細については、『ZENworks レポートサーバインストールガイド(http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_installation_reportingserver/data/bookinfo.html)』を参照してください。

2.15.10 レポートサーバを ZENworks 10 Configuration Management SP3 から ZENworks 11 に移行した後で起動ステータスオブジェクトが使用できない

ZENworks Reporting Server InfoView で、ZENworks 11 の ZENworks 10 Configuration Management SP3 で作成した Bundles and Policies フォルダ下の起動ステータスオブジェクトにカスタムレポートを実行する際に、次のエラーが発生する場合があります。

some objects are no longer available in the universe. See your Business Objects administrator. (Error WIS 00001)

解決策 : [OK] をクリックしてエラーメッセージダイアログボックスを閉じて、以下を実行して起動ステータスオブジェクトを追加します。

- 1 [照会の編集] をクリックします。
- 2 [ユニバース] ペインで、[ZENworks] > [バンドルおよびポリシー] > [展開] > [バンドル詳細] の順に移動します。

- 3 起動ステータスオブジェクトを [結果オブジェクト] ペインにドラッグします。
- 4 [クエリの実行] をクリックします。
- 5 レポートを保存します。

2.15.11 カスタムレポートの生成時に、管理可能なデバイスフィルタに Linux、Windows 7、および Windows Server 2008 R2 デバイスが表示されない

カスタムレポートの生成時に、管理可能なデバイスフィルタに Linux、Windows 7、および Windows Server 2008 R2 デバイスが含まれない場合があります。

解決策 : 次の手順を実行します。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックします。
- 3 [新規] > [Web インテリジェンスドキュメント] の順にクリックします。
- 4 [クエリフィルタ] ペインで管理可能なデバイスオブジェクトを削除します。
- 5 Linux、Windows 7、および Windows Server 2008 R2 デバイスを含めます。
 - 5a [ユニバース] ペインで、[ZENworks] > [検出されたデバイス] > [一般的な検出されたデバイス属性] > [ネットワークデバイスタイプ] の順に移動します。
 - 5b ネットワークデバイスタイプオブジェクトを [クエリフィルタ] ペインにドラッグします。
 - 5c [ユニバース] ペインで、[ZENworks] > [検出されたデバイス] > [管理可能なデバイス属性] > [管理可能なデバイス - オペレーティングシステム] の順に移動します。
 - 5d OS カテゴリおよび OS プラットフォームオブジェクトを [クエリフィルタ] ペインにドラッグします。
- 6 各フィルタの横の [フィルタタイプの定義] アイコンをクリックします。
- 7 ポップアップメニューから [リストからの値] を選択します。
- 8 必要な値を選択して、[リスト] ペインに追加します。
- 9 [OK] をクリックします。

2.15.12 中国語ロケールでディレクトリを作成する際に ZENworks Reporting Server InfoView に迷惑メール文字が表示される

解決策 : 次の手順を実行します。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックして、ZENworks Reporting Server InfoView を起動します。
- 3 任意の Web インテリジェンスレポートを右クリックして、[スケジュール] をクリックします。
- 4 [スケジュール] ペインで、[フォーマットと宛先] をクリックします。
- 5 [出力フォーマットと宛先] をクリックします。
- 6 [出力フォーマット] パネルで、[Web インテリジェンス] チェックボックスをオンにします。

- 7 [出力フォーマット詳細] パネルで、[ファイルの場所] チェックボックスをオンにします。
- 8 [宛先オプションと設定] をクリックします。
- 9 [オプションと設定] パネルで、[ジョブサーバのデフォルトの使用] チェックボックスをオフにします。
- 10 [ディレクトリ] オプションで、レポートインスタンスを保存する宛先デバイス上にあるディレクトリのパスを指定します。
- 11 適切なフィールドに入力し、[スケジュール] をクリックします。

2.15.13 GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストールが OES 2 SP2 x86_64 でハングする

GUI モードでアンインストールプログラムを実行して、OES 2 SP2 x86_64 から ZENworks Reporting Server のアンインストールを選択する場合、プログラムがアンインストールを終了するのに 45 分ほどかかる場合があります。このときに、ZENworks Reporting Server が正常にアンインストールされた場合にもアンインストールプログラムがハングする可能性があります。

ZENworks Reporting Server がアンインストールされたことを確認する

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 ZENworks Reporting Server InfoView が無効になっているかどうか確認します。
- 3 Business Objects Enterprise サービスディレクトリが削除されたかどうか確認します。
`/etc/init.d/ObjEnterprise120 service`
- 4 Business Objects Enterprise ディレクトリが削除されたかどうか確認します。
`/opt/novell/zenworks/share/boe folder`
- 5 ZENworks Reporting Server アンインストールログファイルを確認します。
`/var/opt/novell/log/zenworks/ZRSuninstall.log` ファイルに次のメッセージが表示される必要があります。
`ZRS Uninstallation Completed Successfully!`

2.16 サテライト

このセクションでは、ZENworks 11 のサテライトデバイスで発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 23 ページの「サテライトからコンテンツの役割を削除しても、最近接サーバデフォルトルールと最近接サーバルールからデバイスが削除されない」
- ◆ 23 ページの「Linux 管理対象デバイスを認証役割を持つサテライトにプロモートすると失敗する場合がある」
- ◆ 23 ページの「管理対象デバイスをイメージングサテライトにプロモートした後にスケジュールを変更しても、イメージングコンテンツがデフォルトのコンテンツ複製スケジュールによって複製される」

2.16.1 サテライトからコンテンツの役割を削除しても、最近接サーバデフォルトルールと最近接サーバルールからデバイスが削除されない

サテライトデバイスからコンテンツの役割を削除しても、最近接サーバデフォルトルールと最近接サーバルールからデバイスが自動的に削除されることはありません。

解決策：[サーバ階層] リストからサテライトデバイスを削除します (ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックして、サテライトデバイスの隣のチェックボックスを選択し、[アクション] > [サテライトサーバの削除] の順にクリックします)。

2.16.2 Linux 管理対象デバイスを認証役割を持つサテライトにプロモートすると失敗する場合があります

Linux 管理対象デバイスは、デバイスの認証役割を正常に設定していて、その後デバイスを更新している場合にも、認証役割を持つサテライトとしてプロモートされない場合があります。以下の例外がエラーログファイルに記録されます。

```
Error Deploying WebApp : javax/servlet/Servlet ClassNotFoundException
```

解決策 :Linux 管理対象デバイスを手動で更新します。認証サテライトが無効であるか、またはログインできない場合、/etc/init.d/novell-zenworks-xplatcmd を使用してエージェントサービスを再起動します。

2.16.3 管理対象デバイスをイメージングサテライトにプロモートした後にスケジュールを変更しても、イメージングコンテンツがデフォルトのコンテンツ複製スケジュールによって複製される

イメージングサテライトのイメージングコンテンツ複製スケジュールを変更する場合、イメージングコンテンツは、イメージングサテライトに管理対象デバイスをプロモートしている間に、修正されたスケジュールではなくデフォルトのスケジュールセットによってプライマリサーバからサテライトに複製されます。

解決策：管理対象デバイスをイメージングサテライトにプロモートした後で、イメージングコンテンツスケジュールを変更します。

1 サテライトからイメージング役割を削除します。

サテライトを管理対象デバイスに降格する方法の詳細については、『ZENworks 11 システム管理リファレンス』の「サテライトからの役割の削除 (http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_system_admin/data/bojy6ea.html)」を参照してください。

2 イメージング役割をサテライトに追加し、役割の設定時に必要なイメージングコンテンツ複製スケジュールを設定します。

イメージング役割をサテライトに追加する方法の詳細については、『ZENworks 11 システム管理リファレンス』の「サテライトデバイスの追加と設定 (http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_system_admin/data/bdymd73.html)」を参照してください。

2.17 ZENworks Adaptive Agent

このセクションでは、ZENworks 11 の ZENworks Adaptive Agent で発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 24 ページの「Linux バンドルの配布を延期するとエラーメッセージが表示される」
- ◆ 24 ページの「バンドルショートカットアイコンが Windows 7、Windows 2008、または Windows 2008 R2 デバイスのスタートメニューに正しく表示されない」

2.17.1 Linux バンドルの配布を延期するとエラーメッセージが表示される

Linux バンドルの配布中に配布動作を手動で延期する場合、ファイルのダウンロードが直ちにキャンセルされますが、以下のエラーメッセージが表示されます。

Inner Cache Error

解決策：ありません。このエラーメッセージは無視してください。後で配布動作を続行できます。

2.17.2 バンドルショートカットアイコンが Windows 7、Windows 2008、または Windows 2008 R2 デバイスのスタートメニューに正しく表示されない

管理対象デバイスの [スタート] メニューにショートカットを表示するようにバンドルを設定していて、このバンドルを Windows 7、Windows 2008、または Windows 2008 R2 デバイ스에割り当てる場合、バンドルショートカットアイコンが [スタート] メニューに正しく表示されません。

解決策：Microsoft サポートサイト (<http://support.microsoft.com/kb/980994>) からパッチをダウンロードします。

詳細については、Novell Support Knowledgebase (http://support.novell.com/search/kb_index.jsp) で入手可能な TID 7005032 を参照してください。

2.18 ZENworks コントロールセンター

このセクションでは、ZENworks コントロールセンターを使用する際に発生する可能性のある問題について説明します。

- ◆ 24 ページの「MS SQL Server 2005 には複数の照合順序オプションがあり、ZENworks コントロールセンターでのリスト表示に影響がある」
- ◆ 25 ページの「ZENworks コントロールセンターにいくつかのロケールに迷惑メール文字のあるメッセージが表示される」
- ◆ 25 ページの「ユーザーソース管理者グループに割り当てられた権利はそのグループ内の管理者には適用されない」

2.18.1 MS SQL Server 2005 には複数の照合順序オプションがあり、ZENworks コントロールセンターでのリスト表示に影響がある

Microsoft SQL Server 2005 を英語 (米国) 以外のロケールにインストールすると、異なるソート順と照合順序が提供されます。つまり、デバイスなど、ZENworks コントロールセンターのリストの順序に影響を受けます。

解決策 :SQL Server をインストールする際には、サーバのロケールに基づいてデフォルトが選択されます。MS SQL Server をインストールする際に、[Microsoft のマニュアル \(http://msdn2.microsoft.com/en-us/library/ms143503.aspx\)](http://msdn2.microsoft.com/en-us/library/ms143503.aspx) を確認して、使用する照合順序オプションを判断してください。

2.18.2 ZENworks コントロールセンターにいくつかのロケールに迷惑メール文字のあるメッセージが表示される

ZENworks Configuration Management Server が Windows デバイスにインストールされている Sybase または MS SQL Server データベースに接続されている場合、ZENworks コントロールセンターの [メッセージログ] パネルのメッセージに次のロケールの無効な文字が表示されます。

- ◆ 中国語
- ◆ 日本語
- ◆ 台湾語

解決策 :ありません。

2.18.3 ユーザソース管理者グループに割り当てられた権利はそのグループ内の管理者には適用されない

ユーザソースのユーザグループに基づいて作成される管理者グループに対して権利を割り当てる場合、その権利はグループ内の管理者に適用することはできません。たとえば、バンドル権限を割り当てている管理者グループに属している管理者が ZENworks コントロールセンターにログインする場合、管理者はバンドルを表示するだけで、作成または変更することはできません。

解決策 : 必要な権利を追加した役割を作成し、ユーザソース管理者グループに役割を割り当てます。

または

管理者にスーパー管理者権限を付与します。

2.19 Zman

このセクションでは、zman コマンドラインユーティリティを使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ [25 ページの「Zman のヘルプが中国語で表示されない」](#)
- ◆ [26 ページの「SLES 10 でレポーティング zman コマンド rpsv および rpgn が失敗する」](#)

2.19.1 Zman のヘルプが中国語で表示されない

簡体字中国語および繁体字中国語で man zman コマンドを使用しても、ヘルプは表示されず、チルダ (~) 文字が表示されるだけです。

解決策 :ありません。

2.19.2 SLES 10 でレポーティング zman コマンド rpsv および rpgn が失敗する

解決策 :rpsv コマンドおよび rpgn コマンドを実行する前に、すべての Linux ユーザが、指定した宛先パスに対して読み込み、書き込み、および実行 (read-write-execute (rwx)) 権限を持っていることを確認してください。

3 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2011 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製・転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。